

# 《都川総合親水公園(仮称)の事業概要》

**自然ふれあいゾーン**

① 湿地や遊水地を活用し、四季の水辺とふれあう場を提供  
 ・野の花園、湿生花園など

② 水田や湧水を保全活用し、農業体験や小川とふれあう場を提供  
 ・保全水田、小川の広場など

**レクリエーションゾーン**

市民の様々な運動、活動の場や子供が水とふれあう場を提供  
 ・芝生広場、運動広場など

**自然再生・観察ゾーン**

動植物の生息・生育環境を保全再生し自然観察や生き物とふれあう場を提供  
 ・環境学習園、生態園など

**都川総合親水公園(仮称)の事業概要**

○事業目的 都川治水対策として千葉県が整備する多目的遊水地を活用し、緑と水辺の拠点となる総合公園を整備します。

○事業地 若葉区大宮町・加曾利町、中央区星久喜町の一部

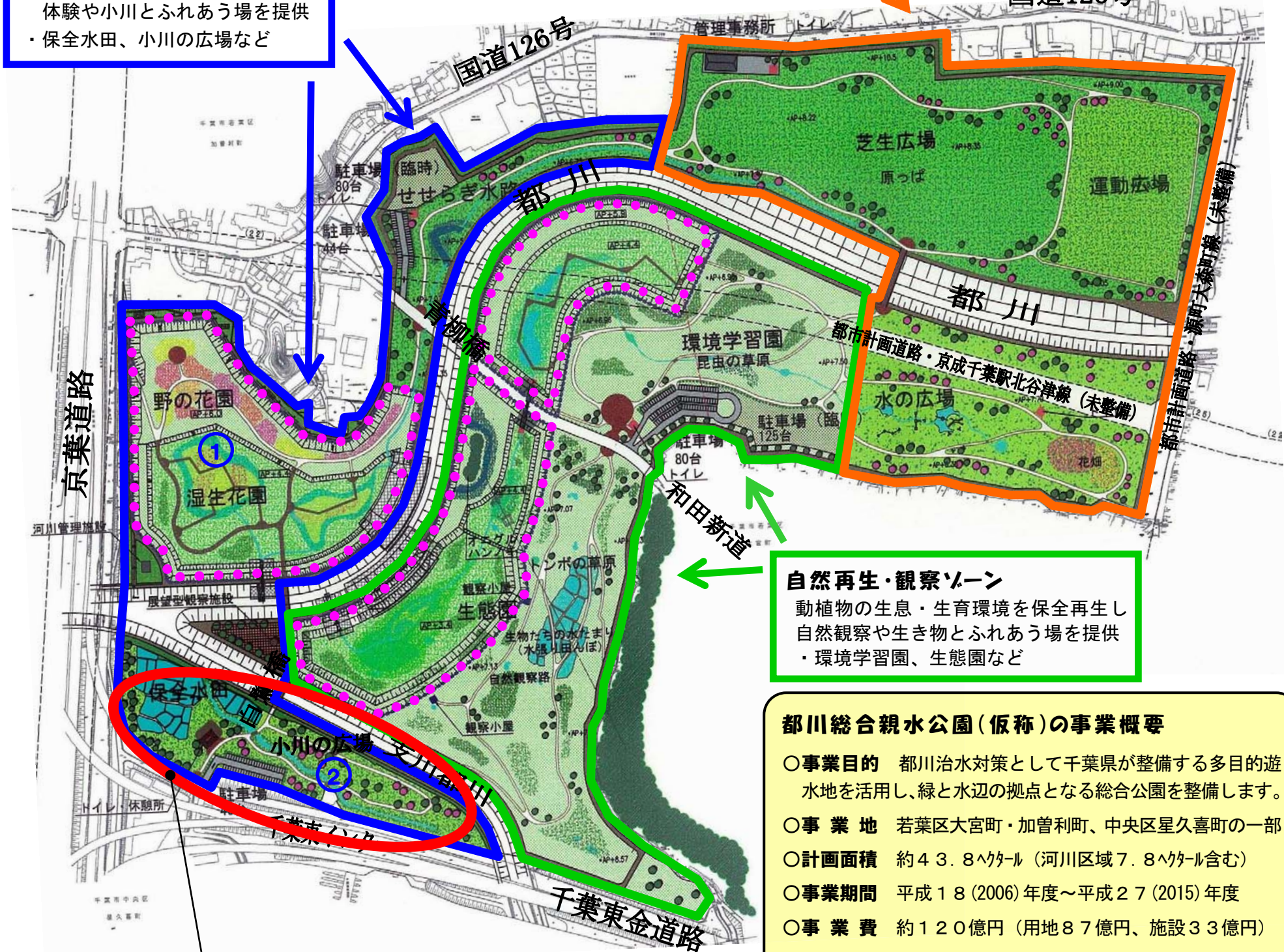
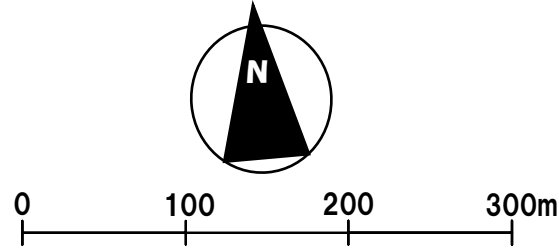
○計画面積 約43.8ヘクタール(河川区域7.8ヘクタール含む)

○事業期間 平成18(2006)年度～平成27(2015)年度

○事業費 約120億円(用地87億円、施設33億円)

○環境特性 計画地周辺は、都川沿いの低湿地に水田や休耕地が、その外側に斜面林が広がり、昔ながらの景観や自然環境が残ります。また、自噴井の湧水が多く点在するなど水環境にも恵まれ、さまざまな動植物が生息・生育しています。

平成21年度整備予定箇所  
 小川・田んぼエリア (2.2ha)



**<テーマ>**

「ふるさとの原風景と生きものにふれあえる田園公園」

**<整備方針>**

- 保全整備
  - ・多様な動植物が生息・生育できる自然環境の保全と再生
  - ・自然・水・地域文化との「ふれあいを継承する場」の整備
  - ・景観・環境・バリアフリーへの配慮を基本とするデザイン
- 利用
  - ・緑と水辺の再生・創出により「環境学習の場」と「公園緑地のネットワークの拠点」づくり
  - ・市民が気軽に利用できる「レクリエーションの場」の提供
  - ・市民の様々なコミュニティ活動の拠り所となる場の提供
- 運営
  - ・市民と行政の協働による公園の管理運営

**平成21年度整備予定箇所「小川・田んぼエリア」の概要**

- 対象地
 

公園南端部の支川都川と千葉東金道路に囲まれた区域で、面積は2.2haです。遊水地エリア外となり、常時、冠水しない区域です。
- 整備の基本方針
 

当該区域は、「自然ふれあいゾーン」に位置づけられています。水田や湧水を保全し、農業体験や小川とふれあう場を提供することを目的とし、小川の広場や保全水田を整備します。
- 主要施設
 

小川の広場……原っぱ、小川の整備(旧河道あり)、水源の森  
 保全水田……休耕地跡を活用した水田(一部畑)  
 湧水(自噴井)……湧水を活用し、小川の流れや水田耕作に利用  
 農業体験施設……農作業や集会、休憩の場とします。

駐車場、水飲み、手洗い場・足洗い場、休憩場所

支川都川/小川の広場は右側



耕作されている水田



白鷺橋



自噴井「太郎」(湧水量186m3/日)

